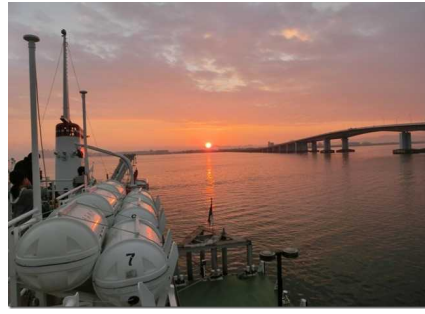


所長だより第40号 平成28年1月1日 1月発行

# かきくけ航海日誌

滋賀県立びわ湖フローティングスクール  
〒520-0047 大津市浜大津5丁目1番7号  
<http://www.uminoko.jp/>



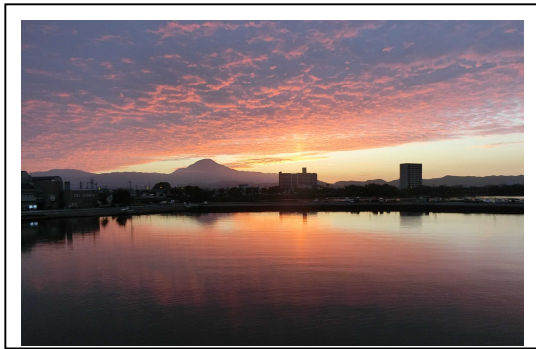
琵琶湖大橋港から朝日を見る

「みずうみに学んで 世界の明日をみる」 「かきくけ航海」を生み出そう！

合言葉 か・・・考える き・・・気づく く・・・工夫する  
け・・・継続する こ・・・行動する

「あけましておめでとうございます」

【所長 新庄 正幸】



春の七草は、平安朝のころは、春の草、若菜と呼ばれ、貴族も村の娘も野に出て摘んで食膳に供したといわれます。正月七日の七草がゆのためだけでなく、豊かでなかった米の節約にもなり、栄養をとるためもあったらうといわれています。『百人一首』の中にも、光孝天皇の歌、

君がため春の野に出でて  
若菜つむわが衣手に  
ゆきはふりつつ

があります。まだ親王だったころの歌で、実際に春浅い雪の中で若菜を摘んだか否か疑わしいとされていますが、それでも当時、春先の新鮮な野草が大事なものであり、あるいは七草がゆの行事が大事とされていたらしいことは、このように歌われることから想像できます。

七草がゆと似たような行事、「子の日の遊び」というのがあって、この日に若菜を摘んで、子どもが楽しむというならわしがあったことに基づいて作られた歌もあるほどです。

さて、学校におかれましては、「みとめ・まとめ」の3学期がスタートします。今年度のフローティングスクールも後15航海を周航し、新船も建造業者入札、詳細設計・建造工事が予定されています。

平成30年度就航に向けて、準備万端整えられますよう尽力してまいりたいと考えておりますので、教職員をはじめ、保護者・地域、県民の皆さまには、引き続き、フローティングスクール事業の進展にお力添えを賜りますようお願い申し上げます。新年のご挨拶といたします。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

## かきくけコーナー

「笑顔あかるく かわしつつ あしたの夢を そだてあう」（湖の子周航歌「希望の船」歌詞3番）の意味づけをしてくださった航海がありました。琵琶湖は、台風接近の影響で風が吹き、白波がたっていました。予定していた長浜には寄港できず、大津港に停泊しました。夜の「うみのこ」は大きな揺れもなく、安全に過ごしていただきました。

翌日も風が残り、カッター活動は中止になりましたが、琵琶湖大橋をくぐって沖島をぐるっと周って帰港されました。このことをとらえ、「台風をはじめ天気がどうなるかなどの自然現象は、自分ではどうにもできない。みなさんが人生を歩いていく上で、自分の思い通りにならないことはいっぱい出てくる。でも、その時にそれをどう受け止め、どう考えるかは自分次第だ。3番の歌詞『あしたの夢をそだてあう』は、困難なことがあっても、めげずに前向きに考えてがんばって生きていこうね。」ということだよ、と意味づけをしてくださいました。